

XVII. 報告書確認サポートチーム

XVII-1 活動の基本方針

院内で画像診断の見落としが散見されている。2022 年度報告書管理体制加算が新設された。これを機に当院でも報告書確認サポートチームを設置し、画像診断部門、病理診断部門が医療安全管理部門と連携し、画像診断報告書や病理診断報告書の確認漏れ等の対策を講じ、改善を図ることを目的とし設置された。

2024 年度の活動として報告書確認サポートチームの医療講演会を web にて開催した。2 週間に 1 度、画像診断および病理診断の未読率について検討を行い、1 か月に 1 度カンファレンスを開催し評価を行っている。

2023 年 10 月より病理検査の未閲覧に関しては、病院病理部より担当科にリストを配布し、病理診断報告書の未閲覧の注意喚起を行っていただいている。これを機に未閲覧は減少している。また、2023 年 1 月末より要望のあった、未読の状況を電子カルテ上で確認できるようにシステムの改修が行われた。それ以降、画像診断報告書の未読率の減少傾向もみられる。これらの評価結果に関しては、医療安全審議委員会、医療安全対策委員会、病院部長会で報告書の未確認の件数を各診療部門に報告し、改善を図っている。

2024 年末に画像診断および組織診断の報告書に関連したアンケート調査を行い、131 件の回答を得た。この結果を踏まえシステムの改善に努めていきたい。